

# 洪水ハザードマップ

Mapa de Risco de Inundação  
Mapa de Perigo de Inundación  
Flood Hazard Map

## 豊川流域

Bacia do Rio Toyokawa  
Toponímico Basin  
Toyokawa Basin

### わが家の防災メモ

台風や豪雨時に慌てずに避難するためには、日頃から周囲の災害リスクを把握し、いつ、どのような避難行動を取るか、事前に考えておくことが大切です。ハザードマップを使って、わが家の防災メモを完成させよう！地図を確認して、該当するところをチェックを記入しましょう。

自然の災害リスク

浸水深	0～0.3m未満	0.3～0.5m未満	0.5～1.0m未満	1.0m以上
浸水深	1.0～3.0m未満	3.0～5.0m未満	5.0～10.0m未満	10.0m以上

家屋倒壊等危険想定区域

避難の方法

避難場所

家族が離れたはなれた時の集合場所や連絡方法(災害伝言ダイヤルや各種SNSなど)

家族の連絡先

家族の名前	連絡先(学校や勤務先など)	電話番号

各施設電話番号

災害伝言ダイヤル「171」の利用

いざという時の連絡先

消防(火災・救急・救助)	119
警察(警備)	110
豊橋市災害対策本部(設置時)	(0532) 51-2055

主な関係施設の連絡先

豊橋市役所(夜間・休日)	(0532) 51-2421
豊橋市民病院	33-6111
豊橋医療センター	(0532) 62-0301

## 非常時に必要なもの

- 非常時持ち出し品チェックリスト
- 貴重品
    - 現金(小銭)
    - 印章
    - 預金通帳
    - 健康保険証
    - 運転免許証
    - 権利証書
    - マイナンバーカード
    - 本人・家族の写真(最新のもの)
  - 食料・水
    - 家族3日分の食料及び飲料水
  - 医療・衛生用品
    - 救急薬品
    - 常備薬
    - 処方箋のコピー
    - お薬手帳
    - 衛生用品(歯ブラシ等)
    - 生理用品
    - ティッシュ
    - ウェットティッシュ
    - 除菌アルコール
    - 体温計
    - マスク
  - 避難用品
    - ヘルメット・防災ずきん
    - 運動靴
    - ホイッスル(呼び笛)
  - 道具箱
    - 携帯電話・モバイルバッテリー及び充電器
    - ラジオ兼ライト(予備電池)
    - 筆記用具(油性ペン含む)
    - 作業用手袋(革手袋)
    - ナイフ
    - 缶切り
    - マッチ
    - ライター
  - 衣類
    - 上着(防寒着)
    - 下着類
    - タオル
    - 雨具(レインコート)
  - 生活用品
    - 毛布・寝袋・寝具セット
    - 使い捨てコンタクトレンズもしくはコンタクトレンズ洗浄液
    - 予備メガネ
    - スリッパ
- 家族に合わせた準備をしましょう

▼高齢者がいる家族 ▼乳幼児がいる家族 ▼妊婦がいる家族

非常時持ち出し品は最小限にして、リュックタイプにまとめるように。避難のときに両手も自由に使えるようにすることが大切です。

ローリングストック(循環備蓄)は、食料・飲料水などを保存期間が切れる前に消費し、新たに補充して、常に一定量のストックがある状態を維持しておくことです。定期的な買い置きや消費することで、無駄を出さず、いつでも常に備蓄が利用できる状態を維持します。

各施設電話番号

災害伝言ダイヤル「171」の利用

いざという時の連絡先

## 洪水ハザードマップとは

洪水ハザードマップとは、大雨によって河川が増水・氾濫した場合の浸水範囲と浸水深さ及び各地区の避難場所を示したものです。この洪水ハザードマップを利用して、あなたが住んでいる地区がどれくらい浸水するのか、そのときにどこへ避難するべきなのかを把握しておきましょう。また、自宅の近くにけが崩れや大雨によって災害の発生が予想される場所がある人は、自主的に早めの避難を心がけましょう。

また、洪水により大きな災害の発生が予想される場合は、市からも避難情報などが出されますので、速やかに避難しましょう。

●豊橋市の主な過去の水害被害記録

1959年 伊勢湾台風  
伊勢湾台風は愛知県を中心に猛威をふるい、5,089人の尊い人命が失われました。豊橋市でも堤防決壊による洪水、暴風による家屋倒壊など甚大な被害をもたらしました。

2008年 平成20年8月末豪雨  
平成20年8月末豪雨は、三河地方を中心に局地的な降雨をもたらしました。豊橋市では、28日の中から29日にかけて、総雨量233.5ミリを観測しました。卯生川や内瀬川が氾濫し、193ヶ所の道路が浸水したと大きな被害を受けました。

洪水ハザードマップの役割

豊橋市の主な過去の水害被害記録

1959年 伊勢湾台風

2008年 平成20年8月末豪雨

豊橋市の被害概要

死者・・・130人  
重傷・・・17戸  
床上浸水・・・157戸  
床下浸水・・・288戸

豊橋市の被害概要

死者・・・1人  
重傷・・・1戸  
床上浸水・・・126戸  
床下浸水・・・214戸

洪水発生メカニズム

大雨により川の水が増え、堤防が壊れたり、川の水が堤防を越えるなどにより発生します。浸水すると水かさが増え、歩行が困難になるため、早めの避難を心がけましょう。

## 情報を入手しよう

防災・災害情報を調べる (PULL型)

1 豊橋市 SNS・ホームページ

●豊橋市ホームページ(防災・災害情報)

●豊橋市防災・安全・安心情報(防災・災害情報)

●豊橋市防災・安全・安心情報(防災・災害情報)

2 スマートフォンアプリ

●防災アプリ「Hazardon(ハザードン)」

●Yahoo!防災速報

3 官公庁による配信情報

●緊急警報

●国土交通省の防災情報

●愛知県川の防災情報

●愛知県消防防災センター

●愛知県防災Web

防災・災害情報を受け取る (PUSH型)

1 メール配信

●メール配信

2 テレビ・ラジオ

●ラジオ放送

●テレビ放送

3 同報系防災行政無線

●同報系防災行政無線

4 広報車

●市内63ヶ所にある防災行政無線より、災害・気象情報をお知らせします。

●市内63ヶ所にある防災行政無線より、災害・気象情報をお知らせします。

## 避難のタイミングを知らう

避難行動判定フロー

台風や大雨のような風水害はあらかじめ接近を予測できる水害です。避難行動判定フローに従い、該当する選択肢にチェックをつけて、自宅における災害リスクととるべき行動を確認しましょう。(このフローは、内閣府が公表する避難行動判定フローに沿って作成しています。)

表面のハザードマップで自分の家の場所を確認し、印をつけておきましょう。

自宅付近は色が塗られていますか?

はい

いいえ

色塗られていないでも、周りと比べて低い土地や崖のそばなどでお住まいの方は、豊橋市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

屋内待機または自主避難

浸水の危険があっても

① 家屋倒壊等危険想定区域外である。

② 浸水する深さよりも高いところにいる。

③ 浸水しても水がひくまで我慢できる。

④ 水・食糧などの備えが十分である場合は自宅に留まり安全確保することも可能です。

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

立退き避難

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?

はい

いいえ

高齢者(要支援者)

乳幼児(哺乳・好乳中)

安全な場所に住んでいて、頼ることのできる親戚や知人はいますか?

はい

いいえ

警戒レベル3 高齢者等避難

警戒レベル3 高齢者等避難

警戒レベル4 避難指示

警戒レベル4 避難指示

が発表されたら、安全な場所、市が開示した避難所に避難しましょう。

が発表されたら、市が開示した避難所に避難しましょう。

が発表されたら、安全な親戚・知人宅などに避難しましょう。

が発表されたら、安全な親戚・知人宅などに避難しましょう。

が発表されたら、市が開示した避難所に避難しましょう。

が発表されたら、市が開示した避難所に避難しましょう。

## 避難で注意することを知ろう

立退き避難の心得

いざというときのために、日ごろから避難に必要なものを整理し、家族で避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

●すばやく避難をしましょう

避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に安全な場所に避難をしましょう。避難の際はブレーカーを落し、火の元を確認しましょう。

●車での避難は控えましょう

水深30cmを超える、多くの車はエンジンが停止するおそれがあるため、車での避難は控えましょう。

●水がひきよまで来たら歩きにくくなります

歩くことのできる水深は50cm程度が限界です。道路が浸水する前に避難するようにしましょう。

●子どもやお年寄りや安全に避難しにくい方

小さな子どもやお年寄りの避難に協力しましょう。子どもについてはロープで大人と大きくとも有効です。

●集団で避難をしましょう

単独での行動は避け、近所の人たちと手を掛け合い、集団で安全な場所に避難しましょう。

●外出中の家族には連絡確認をしましょう

避難時に外出中の家族には、「〇〇」に避難する、といったようなメモを残すようにしましょう。

●足元に注意をしましょう

長い棒や木材を杖代わりにして、側面に足を踏まないように注意をしましょう。道筋の真ん中を歩きましょう。

●危険なところは避けましょう

狭い道、けがや川・水路のそばは避けましょう。電線が垂れ下がっているところも危険です。

危険箇所を事前に確認しよう

崖崩れや土砂崩れの恐れがある場所

地下空間

地下道(アンダーパス)

浸水が継続する期間を知る

浸水継続時間を表示した図では、洪水により浸水深0.5m以上が継続する時間を表しています。浸水継続時間が長くなるおそれのある地域にお住まいの方は、6ページの避難行動判定フローに従って、事前に避難を行っていきましょう。

●どこで確認できるの?

浸水継続時間を表示した図については、下記の2次コードもしくはURLよりご確認ください。

豊川・豊川放水路

豊川下流支川

●浸水継続時間が長い地域で立退き避難を行なわなければならないときは?

浸水の長期化がわかって想定される地域で、立退き避難をするに自宅の設備が不備な場合は、次のような問題点を起こさず、浸水継続時間が長い地域の住民の方は、適切な避難行動を取ります。

外部との連携が滞り

●生活環境が悪化する

●水が臭いなどの被害がなくなる

●雨人が出た場合に対応が難しい

●定期的な点検が受けられない など

電気、ガス、水道が止まる

●生活環境が悪化する

●停電などにより、情報を得られなくなる など

孤立した場合

●被害を受けた場合の対応が困難である

●情報を得られず不安になる など

大雨・洪水に関する注意報・警報

大雨・洪水注意報

大雨・洪水警報

大雨特別警報

警戒レベルの確認

災害発生のおそれが高まった場合、市や気象庁などから様々な情報が発表されます。これらの情報に注意し、段階に合わせた適切な行動を取りましょう。

警戒レベル

警戒レベル5

警戒レベル4

警戒レベル3

警戒レベル2

警戒レベル1

●キキル(危険度分布)

「キキル」は大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで起きているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。

浸水キキル(大雨警報(浸水)の危険度分布)

浸水キキル(洪水警報)の危険度分布